

いのちとくらしをまもる
防災減災



令和 7 年 6 月 27 日
鳥取地方気象台

広島地方気象台は、「中国地方は、梅雨明けしたとみられます。」と発表しました。

中国地方は、高気圧に覆われておおむね晴れています。

向こう 1 週間は、湿った空気などの影響で雲の広がる日もありますが、高気圧に覆われておおむね晴れる見込みです。

このため、中国地方は 6 月 27 日頃に梅雨明けしたとみられます。

平年(7 月 19 日頃)より、22 日早く(階級ではかなり早い)、昨年(7 月 21 日頃)より 24 日早い梅雨明けとなりました。

梅雨の期間の降水量や平年値等は、別紙を参照ください。

(注意事項)

- ・梅雨は季節現象であり、その入り明けは、平均的に 5 日間程度の「移り変わり」の期間があります。
- ・梅雨の時期に関する中国地方気象情報(広島地方気象台発表)は、現在までの天候経過と 1 週間程度あるいはその先までの天候の見通しをもとに、速報として発表する情報です。後日、春から夏にかけての実際の天候経過に基づいて、梅雨入りと梅雨明けの時期を総合的に検討し確定しています。
- ・梅雨の時期に関する中国地方気象情報(広島地方気象台発表)は、山口県を除く中国地方(広島県・岡山県・島根県・鳥取県)を対象としています。
- ・平年の梅雨入りの統計期間は、1991 年～2020 年です。

【梅雨明け時期の階級区分と記録】

梅雨明け						
最も早い記録 (1951年以降)	かなり早い	早い	平年並 (平年)	遅い	かなり遅い	最も遅い記録 (1951年以降)
7月3日頃 (1978年)	～7月8日頃	～7月17日頃	7月18日頃～7月21日頃 (7月19日頃)	7月22日頃～	7月30日頃～	8月3日頃 (1998年)

中国地方の梅雨明けの順位(統計開始:1951 年～2024 年)

早い方の順番		遅い方の順番	
1位	7月3日頃 (1978年)	1位	8月3日頃 (1998年)
2位	7月4日頃 (1973年)	2位	8月2日頃 (1954年)
3位	7月6日頃 (2008年)	3位	7月31日頃 (2020年)
4位	7月8日頃 (2013年)	3位	7月31日頃 (2003年)
4位	7月8日頃 (2011年)	3位	7月31日頃 (1988年)

問合せ先：鳥取地方気象台

電話 0857-29-1313 (平日 08 時 30 分～17 時 00 分)

令和7年6月9日から6月26日にかけての鳥取県内の降水量（速報値）
（単位は、表1、図1共にミリです）

表1 鳥取県内の降水量と平年値

境	118.5	110.5
塩津	145.5	103.1
青谷	127.0	100.6
湖山	131.0	86.1
岩井	153.5	100.2
米子	155.0	108.7
倉吉	122.5	92.1
鹿野	144.5	121.6
鳥取	149.0	90.6
大山	243.5	152.5
関金	154.0	101.1
佐治	172.0	111.9
若桜	160.0	105.9
江尾	148.5	100.6
智頭	167.0	110.1
茶屋	110.0	123.3

表2 梅雨入り・明け日

	梅雨入り	梅雨明け
今年（令和7年）	6月9日頃	6月27日頃
平年	6月6日頃	7月19日頃
平年差	3日遅い	22日早い
昨年（令和6年）	6月20日頃	7月21日頃
昨年差	11日早い	24日早い

図1 鳥取県内の降水量

